

総務委員会

【議案第1号】令和7年度鯖江市一般会計予算

2,442万円

越前漆器の良さを知ってもらうため、認知度を高めるプロモーション事業を実施

説明 本市の三大地場産業の一つである『越前漆器』を持続可能な産業にしていくことを目的に、「めがねのまちさばえ応援プロジェクト」の一環として、東京ガールズコレクションの場を活用し、Z世代など若者層に響く商品づくりやひとづくりにつながる産地紹介など、人気インフルエンサーを中心に据えたSNSやイベントなど様々なコンテンツを活用し、プロモーションを行う。また、テニス世界大会ATPツアー会場において、インバウンド富裕層をターゲットにした『越前漆器』の実演や体験、展示など日本の文化に触れることができるコーナーでプロモーションを実施する。

問 商工観光課ではなく、総合政策課が所管する意図や狙いは。

答 この事業は、『まちそのものを売り込む』というところに主眼を置いている。『めがねのまちさばえ』の認知度が向上している中で、『めがね』の次に打ち出していくべきものは業務用漆器のシェア日本一の『越前漆器』であるとする。この事業は、新年度新たに越前漆器「継ぐ×創る」プロジェクトと銘打ち、政策経営部において取り組むこととしているが、産業担当部門においては、後継者育成や販売促進につなげていくなど、『めがねのまちさばえ』を推し進めてきたように部局横断で取り組むこととしている。

【議案第1号】令和7年度鯖江市一般会計予算

426万円

新年度から、未来の鯖江市を担う支え手として、優秀な人材を確保するための「長期インターンシップ」を導入



問 『長期インターンシップ』とは。従来のインターンシップとの違いや目的は何か。また、リスクは。

答 市独自の短期インターンシップに加え、3週間の長期インターンシップを新たに実施する予定。期間中、会計年度任用職員として実際に市の業務を経験してもらうことで、職場環境をより深く知ってもらい、志望動機を高め、内定辞退者を減少させることが目的である。一方で、「鯖江市が選ばれない」というリスクはゼロではないが、入庁後に思い描いていた公務員像とは違ったという理由で、若くして退職する職員が一定数存在する中、学生にとっては事前にアンマッチを防ぐ貴重な機会であり、市にとっては優秀な人材を見極められる手法であるとする。

【議案第1号】令和7年度鯖江市一般会計予算

233万円

空き家対策事業として、「所有者不明土地・建物管理人選任申立事業」を実施

説明 近年、市内においても空き家を相続放棄するケースが増加しているが、令和5年の法改正により、市町村が所有者不明の建物に係る財産管理人選任の申し立てを行うことが可能になった。市内には、およそ30軒の相続放棄された建物があると把握しており、比較的新しい建物については財産管理人を選任して積極的に売却を進め、新たな所有者につなげていきたい。

問 相続放棄された建物の売却に向けて、市が取り組むことができるようになったことは理解できた。一方で、老朽化した危険な建物について、市は強制代執行による取壊しを実施しないのか。

答 代執行の実施には高額な予算措置が必要であり、それを進めていくことで、市の負担も増大していく。現段階において代執行の実施については考えていないが、建物の状況を見ながら判断していきたい。